

p.2 はじめに の4行目 検定にかかわらず、 を削除

p.4 モジュール2 検定概要のご案内 の会場

＜改訂前＞

●会場 日本全国主要都市 / 韓国 / 台湾

＜改訂後＞

●会場 日本全国主要都市 / アジア各地

p.4 JPCA パーソナルカラーアドバイザー® について の1行目

＜改訂前＞

モジュール3（上級）検定試験は実技を含む選択方式

＜改訂後＞

モジュール3（上級）検定試験は選択方式

p.8～10 日本パーソナルカラー協会認定 JPCA パーソナルカラーアナリスト®・JPCA 講師 の記事・写真を変更

p.11 パーソナルカラーアナリストの基礎知識 の3～4行目

＜改訂前＞

単なる物体色と顔色の見え方は異なることや色の調整効果、共通心理と個別心理について理解しておく必要があります。

＜改訂後＞

単なる物体色と顔色の見え方は異なることや、色による顔の見え方の調整効果について理解しておく必要があります。

p.12 ●パーソナルカラーは他者評価 5～6行目

＜改訂前＞

このスキルを……理解に加えて、パーソナルカラー分析診断を何度も実践することにより見極める目を鍛える訓練が必要です。

＜改訂後＞

このスキルを……理解に加えて、様々なモデルにより異なる顔の変化を体験することにより見極める目を養う学習が必要です。

p.18 パーソナルカラーにおける色の属性 表内「清濁」の4行目

＜改訂前＞

パーソナルカラーでは、……、灰も濁色に分類される。

＜改訂後＞

パーソナルカラーでは、……、灰は濁色に分類される。

p.22 清濁の違いによる顔の見え方 「共通心理」の3行目、「個別心理」の4～6行目を以下の通り改訂

清濁が顔の見え方に与える影響	清色（クリア）	濁色（ソフト）
共通心理 Common Effect	肌にツヤ（光沢）が出る 光が当たったように見える 輪郭線や顔の中の線がはっきり見える 顔が平面的に見える	肌がマットに見える 薄いベールがかかったように見える 輪郭線や顔の中の線が柔らかく見える 顔に奥行き感が感じられる
個別心理 Individual Sense	肌にハリ・ツヤが出て若々しい印象 リフトアップして見える 肌がテカテカして見える 輪郭線がすっきりシャープに見える シワがくっきりする 肌の色ムラが目立つ クリアな印象 はっきりした印象	肌のキメが整い上品な印象 顔が立体的に見える 肌が滑らかに見える 輪郭線がぼやけて見える 肌がたるんで見える 肌がパウダリーに見える ソフトな印象 ぼんやりした印象

※掲載している効果は代表例です。



p.26 **ぐっと華やかに** 下から2行目～ の文と 左下「Before」写真、「四属性の図」

＜改訂前＞

され、若々しく躍動感のある華やかな・・・。

＜改訂後＞

され、若々しく躍動感があり、より華やかな・・・。

➡「Before（黄み）」と「After（強い黄み）」の写真の「色相（ベース）」の差が明確になるように、左下「Before」写真の色みを「やや青み」へ変更。実際の色は、ここに再現できないため、改訂版テキストでご確認をお願いいたします。

「After」の写真は、「黄み＋高彩度」の属性で、より華やかに見える効果となっているため、四属性の図も変更。

＜改訂前＞



＜改訂後＞



p.28 PRACTICE ここまで学んだことが理解できたか確認しよう！ の Q2

＜改訂前＞

会社の役員向けのプレゼンテーションで、目鼻立ちがはっきりと華やかな・・・。

＜改訂後＞

会社のプレゼンテーションで、肌にハリが出て華やかな・・・。

p.28 PRACTICE ここまで学んだことが理解できたか確認しよう！ の ANSWER の Q2

＜改訂前＞

Q2: D, G, H 目鼻立ちがはっきりするのは・・・。／ Q3

＜改訂後＞

Q2: D, G, H ／ Q3

p.30 ●マンセル表色系の色表記（マンセル記号 / マンセル値） の3行目

※「N」を変数を示すイタリック体のフォントへ変更

＜改訂前＞

「Neutral」の頭文字 N・・・

＜改訂後＞

「Neutral」の頭文字 *N*・・・

p.31 マンセル色相環 の1行目

＜改訂前＞

基本 10 色相 R～RP に・・・。

＜改訂後＞

基本 10 色相 R～RP 各々に・・・。

p.34 ●PCCS の色の三属性 の表内「明度」 の2行目

＜改訂前＞

PCCS とマンセル表色系では、同じ色の明度・・・

＜改訂後＞

PCCS とマンセル表色系では、明度・・・

p.34 ●PCCS の色表記 の表題 と 1 行目

<改訂前>

●PCCS の色表記

有彩色は「8:Y・・・

<改訂後>

●PCCS の色表記：PCCS 記号（三属性表記）とトーン記号

有彩色を三属性で表す場合「8:Y・・・

p.36 ●PCCS のトーン分類 p.37 ●PCCS のトーンの感情効果 のトーン図内の v トーンと b トーンの色を調整

➡実際のトーン図は、ここには再現できないため、改訂版テキストでご確認をお願いいたします。

p.38 ●PCCS 記号とマンセル記号 の表題 と 1 行め～2 行目

<改訂前>

●PCCS 記号とマンセル記号

PCCS の・・・マンセル記号で表示すると・・・

「PCCS・・・・・・想定できるよう。例えば、

<改訂後>

●PCCS 記号とマンセル値

PCCS の・・・マンセル値を用いて表すと・・・

「PCCS・・・・・・想定できるように、また

p.42 色名 の 以下 3 色の色見本を修正 & 「藍色」の写真の色を色見本に合わせて調整

➡実際の色は、ここに再現できないため、改訂版テキストでご確認をお願いいたします。

修正した色見本：「新橋色／ターコイズブルー」「浅葱色」「モーヴ」

p.42 色名 「浅葱色」の 2 行目

<改訂前>

になり、そのような浅い・・・

<改訂後>

になり、そのような明るい・・・

p.45 ①分光分布 の ●蛍光灯 の記述を削除し、●LED の記述を追記

●蛍光灯の記述削除に伴い、冒頭の ●分光分布 の 2 行目から「蛍光灯」の文字を削除

<改訂後>の ●LED の記述は以下です。

●LED

LED は、近年、一般照明の主流となっています。従来の照明（白熱灯など）と比較して、消費電力が少なく長寿命です。また、従来の照明では難しかった調光（光の明るさの調節）、調色（光色〔光の色み〕の調節）が可能であるなど様々な特徴があります。LED は直進性の高い光であるため、直接目に入るとまぶしく感じます。パーソナルカラーで色を見る際は拡散光を使い、光と目の角度に注意して、光が目強い刺激とならないように配慮が必要です。

LED は、主に「青色 LED と黄色蛍光体」を組み合わせる発光方式で白い光を作っています。この方式では、下図（電球色、昼白色、昼光色）のような光色（光の色み）のバリエーションがあります。この他にも「青色 LED と赤・緑色蛍光体」を組み合わせた高演色タイプの発光方法などがあり、発光方法と光色により、分光分布は異なります。同じ発光方法の照明光の分光分布を比較することで、その光色の特徴がわかります。下の分光分布図で光色の違いを確認してください。（p46 下「光色による見え方の違い」を参照）

p.47 CHECK パーソナルカラーに適切な照明の条件

＜改訂前＞

●照度：1000 lx～2000 lx

＜改訂後＞

●照度：1000 lx～2000 lx（顔付近のみではなく、部屋全体の明るさを確保する）

p.48 ●質感（テクスチャー）の表

＜改訂前＞

光沢感のあるテクスチャーをもつ素材：
エナメル、表革、シルク、塩化ビニールなど

＜改訂後＞

光沢感のあるテクスチャーをもつ素材：
エナメル、表革、シルクサテンなど

p.52 混色 ●色光の三原色 と ●色料の三原色 の表題 と 図を変更 ●色料の三原色 の図下に説明追加

＜改訂前＞

●色光の三原色

●色料の三原色

＜改訂後＞

●色光の三原色（加法混色の三原色）

●色料の三原色（減法混色の三原色）

変更した図の内容⇒ ●色光の三原色（加法混色の三原色）の図の背景に黒い四角形を追加しました。

⇒色光の混色の背景となるスマホやPCの黒い画面をイメージ

●色料の三原色（減法混色の三原色）の図の背景に白い四角形を追加しました。

⇒色料の混色の背景となる白い紙などをイメージ

●色料の三原色（減法混色の三原色）

右図の下に追加した文⇒ ※上図のBkは、実際の混色では暗灰色（あんかいしょく）になります。

p.56 ●ビコロール配色／バイカラー配色：2色配色 の2行目

＜改訂前＞

に見られる・・・高彩度色と無彩色の

＜改訂後＞

に見られる・・・高彩度色と白または黒の

p.58 ●ナチュラル配色 の右下 ネイルの写真 ナチュラル配色とわかりやすいように色を修正

⇒実際の色は、ここに再現できないため、改訂版テキストでご確認をお願いいたします。

p.60 色相の分割による配色法 ●トライアド の表題 と2行目 配色名表示を訂正

＜改訂前＞

●トライアド

＜改訂前＞

色である・・・配色もトライアドです。

＜改訂後＞

●トライアド（トライアド）

＜改訂後＞

色である・・・配色もトライアドです。

p.67 ページの内容を差替えました。

➡イラストなども変更しておりますので、改訂版テキストでご確認をお願いいたします。

改訂前の ●診断結果がひとつのシーズンに収まるとは限らない

●個々に応じて調整が必要な場合がある

の項目は削除し、p.76～ **フォーシーズンのアレンジ** の解説へ内容を変更

p.76 **フォーシーズンのアレンジ** 冒頭の2行めの後に、以下の文を追加

※ p.76～79 各ページ中央に示された＜アレンジ＞のイメージワードについて、
各シーズンの四属性をどのように調整したらそのイメージを表現できるかを考えてみましょう。

p.76 **フォーシーズンのアレンジ** の左のイラストのバッグの色と、その右下の色見本の色を修正

➡実際の色は、ここに再現できないため、改訂版テキストでご確認をお願いいたします。

p.82 **パーソナルカラー分析診断の準備** の表「照明光」の2行目

＜改訂前＞

部屋の照度は・・・

＜改訂後＞

部屋全体の照度は・・・

p.83 **パーソナルカラー分析診断の進め方** の表「冬」の2行目

＜改訂前＞

●高～低彩度

＜改訂後＞

●高・低彩度

p.87 **フォーシーズン分類と属性の関係** の下から2行目の文末～最終行

＜改訂前＞

フォーシーズンは・・・・・・ですが、P67
で学んだように、・・・・ことをよく理解しておきましょ
う。

＜改訂後＞

フォーシーズンは・・・・・・ですが、「似合う
色が4つのシーズンのどれかに当てはまるとは限ら
ない」ことを理解しておきましょう。

p.94 教材を入手しよう のページの内容を差替えました。

テキストの金額表示を廃止、新しい画像と変更など